

## エレクトロニクス部会ニュース No. 4

・平成 21 年 2 月 10 日(火)

部会ニュース No.4 をお届けします。内容は 4 月 13 日(水)に開催予定の幹事会のご案内と 2 月 4 日(水)に開催された幹事会の議事概要です。

2 月 4 日幹事会の主な議事内容は、部会長、副部会長の交代、部会継続申請、8 月シンポのテーマ等についてです。

### ( 1 ) 平成 21 年度第 1 回幹事会

標記会議を次の要領で開催します。議題は主として部会の継続申請、今後の部会の活動、8 月シンポジウムの件等です。どなたでも出席できますので、どうぞご出席ください。

- 1.日時：平成 21 年 4 月 13 日(月) 14:00～17:30
- 2.場所：住友ベークライト(株)会議室
- 3.議題：継続申請について  
今後の活動計画  
8 月シンポジウムについて 等

### ( 2 ) 平成 20 年度第 6 回幹事会

標記会議を 2 月 4 日(水)、住友ベークライト(株)にて開催しました。主な議事内容は次の通りです。

#### 役員・担当の交代(資料 1 参照)

部会長は荻野幹事から羽深幹事に交代。副部会長は羽深幹事から石井幹事に交代。監事は小川(裕)幹事から高木幹事に交代。年鑑担当は澤井幹事、横澤幹事から齊藤幹事、大久保幹事(お願い中)に交代。

#### 「エレクトロニクス部会行事積立金取扱規則」(資料 2 参照)

公益法人会計基準「遊休財産額(内部留保 = 繰越金) 総事業支出の 30%」を満たすため、繰越金を特定資産(簡単にいえば「----積立金」)にする必要があるとのことで、化学工学会提示の模範文に従い、積立金の規則を制定した。

ただし、第 1 条の名称と規則の表題が一致しない、第 3 条 2 項の必要支出金額は予算書に記載するのではないかと、第 3 条 2 項の「新規に----」は 1 項に来るのではないかと、第 2 条はこれでよいのか、そもそも「行事」というのは経常費でまかなうのが普通ではないのか、等の疑問点はありますが???

#### 平成 21 年度予算(資料 3 参照)

積立金の規則ができましたので、今後は記載形式が変わりますが、ここでは旧のまま示します。

#### 部会の継続申請書の審議

必要書類の準備は完成。内容についてもおおむね了承。

8 月のシンポジウムはエネルギー変換に関連する電池の問題点を取り上げる予定  
平成 20 年度活動報告書(資料 4 参照)

## 資料1

### 平成21年度役員名簿(平成21年3月1日 平成22年2月28日)

役職	氏名	所属	担当
部会長	羽深 等	横浜国立大学	年鑑・便覧
副部会長	石井 正人	メック(株)	シンポ
副部会長	小川 富太郎	住友ベークライト(株)	
代表幹事	近藤 和夫	大阪府立大学	名簿・便覧・ESIC
幹事	青柳 昌宏	(独)産業技術総合研究所	
幹事	池田 徹	京都大学	
幹事	石室 良孝	(株)東レリサーチセンター	
幹事	伊藤 真一郎	住友ベークライト(株)	
幹事	大枝 靖雄	三井化学(株)	便覧
幹事	大久保 利一	凸版印刷(株)	年鑑
幹事	岡本 尚樹	大阪府立大学	
幹事	小川 裕誉	(株)野田スクリーン	
幹事	荻野 文丸	京都大学	便覧・ニュース
幹事	河西 純一	(株)J C t e c h	
幹事	木越 将次	東レ(株)	
幹事	久保田 繁	(財)新機能素子研究開発協会	
幹事	今野 幹男	東北大学	
幹事	齊藤 丈靖	大阪府立大学	年鑑
幹事	澤井 宏之	住友ベークライト(株)	便覧
幹事	菅原 活郎	日本大学	便覧
幹事	須藤 雅夫	静岡大学	
幹事	曾根 孝之	田中貴金属販売(株)	
幹事	高橋 健司	(株)東芝セミコンダクター	
幹事	所 和彦	(独)産業技術総合研究所	ESIC
幹事	はばき 広顕	東京工業大学	HP・編集委員
幹事	林 秀臣	東京大学	
幹事	横澤 伊裕	宇部興産(株)	ESIC
監事	中村 英博	日立化成工業(株)	HP・トピックス
監事	高木 清	高木技術士事務所	便覧
事務局	老田 尚久	住友ベークライト(株)	会計・便覧・ESIC

## 資料2

### エレクトロニクス部会行事積立金取扱規則(案)

(名称)

第1条 積立金の名称を「エレクトロニクス部会主催行事積立金」(以下「本積立金」という)とする。

(目的)

第2条 本積立金は、化学工学会エレクトロニクス部会(以下「本部会」という)が行う行事を遂行するための下記の資金とすることを目的とする。

- (1)本部会が行う大会のための資金
- (2)本部会が行う学術発表のためのシンポジウム、交流会等の会議開催のための資金
- (3)本部会が行う活動の成果を公表するための出版事業のための資金
- (4)本部会が行う講演会、講習会、見学会等の化学工学技術者の生涯教育向上のため、及び青少年に対する教育普及活動行事のための資金
- (5)その他、化学工学の発展、化学工学技術者育成及び青少年育成に必要と幹事会が認めるもの

(本積立金からの支出)

第3条 複数年に亘り継続的に行っている第2条に該当する行事に対して本積立金からの支出を必要とする場合は、次年度事業予算審議時に幹事会の承認をうけることとする。

- 2 新規に行おうとする第2条に該当する行事に対して本積立金からの支出を必要とする場合は、計画書・予算書および必要支出金額を作成し、幹事会で審議承認をうけることとする。

(本積立金への積立)

第4条 行事終了後或いは年度終了後にその決算を行い、剰余金がある場合は、剰余金から幹事会で認められる金額を本積立金に積み立てることができる。

(変更)

第5条 本規則の改正は幹事会の承認を得て行う。

附則 本規則は平成21年2月4日より施行する。

### 資料3

## 平成21年度エレクトロニクス部会予算申請書

(平成21年3月1日より平成22年2月28日まで)

(単位：千円・税込)

支出の部		収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
<b>事業費</b>	<b>1,400</b>	<b>本部交付金収入</b>	<b>133</b>
シンポジウム支出	1,300	本部交付金収入	133
研究報告会	100	<b>秋季大会還付金収入</b>	<b>35</b>
<b>管理費</b>	<b>945</b>	秋季大会還付金収入	35
<b>事務費</b>	<b>925</b>	<b>会費収入</b>	<b>1,000</b>
会議費	800	個人会員会費	150
通信費	70	賛助会員会費	850
消耗品費	15	<b>事業収入</b>	<b>1,200</b>
雑費	40	シンポジウム収入	1,200
<b>人件費</b>	<b>20</b>		
アルバイト	20		
<b>本部事務負担金</b>	<b>30</b>		
本部分担金	30		
<b>当期支出合計</b>	<b>2,375</b>	<b>当期収入合計</b>	<b>2,368</b>
<b>当期収支差額 = -</b>	<b>-7</b>	<b>前期繰越収支差額</b>	<b>5,029</b>
<b>次期繰越収支差額 = -</b>	<b>5,022</b>	<b>収入合計 = +</b>	<b>7,397</b>

## 資料 4

(別紙 2)

### エレクトロニクス部会平成 20 年度活動報告書

平成 21 年 1 月 30 日

#### 2. シンポジウム・講演会などの行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者		
				産	学	合計
8/19	シンポジウム「重要性を増してきた電子回路、デバイスの放熱対策とその材料」	主催 協賛：熱工学会	東京工業大 学	93	11	104

#### 3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	共催・協賛団体	会場	参加者		
				産	学	合計
9/24	第 40 回秋季大会「実装プロセス工学」	主催	東北大学	15	10	25

#### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数
9/	化学工学 10 号特集「化学工学年鑑」	化学工学会	

#### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行数
10/22-12/15	部会ニュース No1, No2, No3	各 189

#### 8. 特記事項

##### 1. 幹事会

隔月に 6 回開催した。幹事会では、通常の事務案件の処理、企画案件の論議の他に、当部会の目的の一つである化学産業・電子産業・素材産業間交流を活性化するための技術交流を行っている。

##### 2. 電子 SI 連絡協議会（電子 SI 技術に関する学協会、研究機関、大学などの横断的組織）

本年度は代表委員会は開催されなかった。しかし、企画委員会は開催され、導電性接着剤および立体構造新機能集積回路について意見交換が行われた。

以上